

令和3年(2021年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年2月 数 量 (トン)	2021年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。降雨が少なく、生育が良くなく、入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	628	74	97%	115%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。順調な生育により入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	550	32	108%	55%
3		きゅうり	宮崎県産・茨城県産中心に高知県産・千葉県産・群馬県産からの入荷でした。好天に恵まれ、入荷量はやや増加しました。平均単価は安く推移しました。	287	409	108%	88%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。順調な生育により前進出荷傾向となったため、入荷量は増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	114	395	113%	100%
5		馬鈴薯	北海道産の出荷が例年より早く終了し、主力の九州産は降雨の影響により出荷が遅れ、入荷量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	276	230	74%	276%
6	果実	伊予柑	1月の降雪の影響により、作柄が良くなく、入荷量は減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	192	204	82%	99%
7		ふじ	下位等級品や小玉果が多く、入荷量は減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	215	250	88%	78%
8		いちご	1月中旬が2番果のピークとなったため、2月は端境となり、入荷量はやや減少しました。平均単価は前年並み推移しました。	159	1,490	90%	99%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上